

2015年 6月期 第2四半期

# 決算 説明会

# 目次

1. 決算の概要	.....	3
2. セグメント別状況	.....	15
3. 2015年6月期見通し	.....	22
4. 中長期的視野に立った経営方針	.....	31

## 【本資料についてのご注意】

- ・ 本資料の記載金額は原則、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ・ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・ 本資料に記載されている会社名、システム名、製品名は、一般に株式会社構造計画研究所ならびに各社の商標または登録商標です。

# 1

## 決算の概要

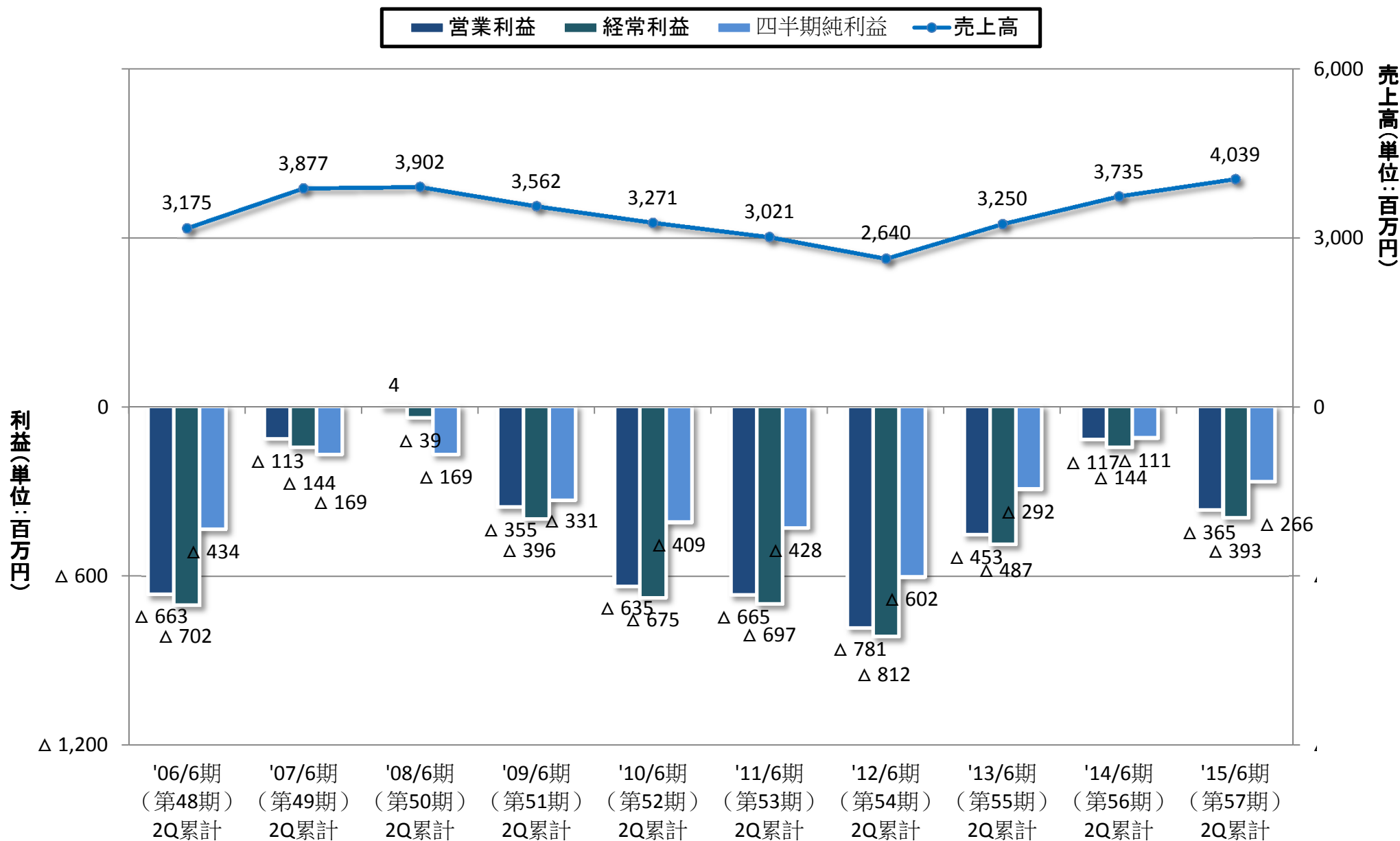


# 決算ハイライト

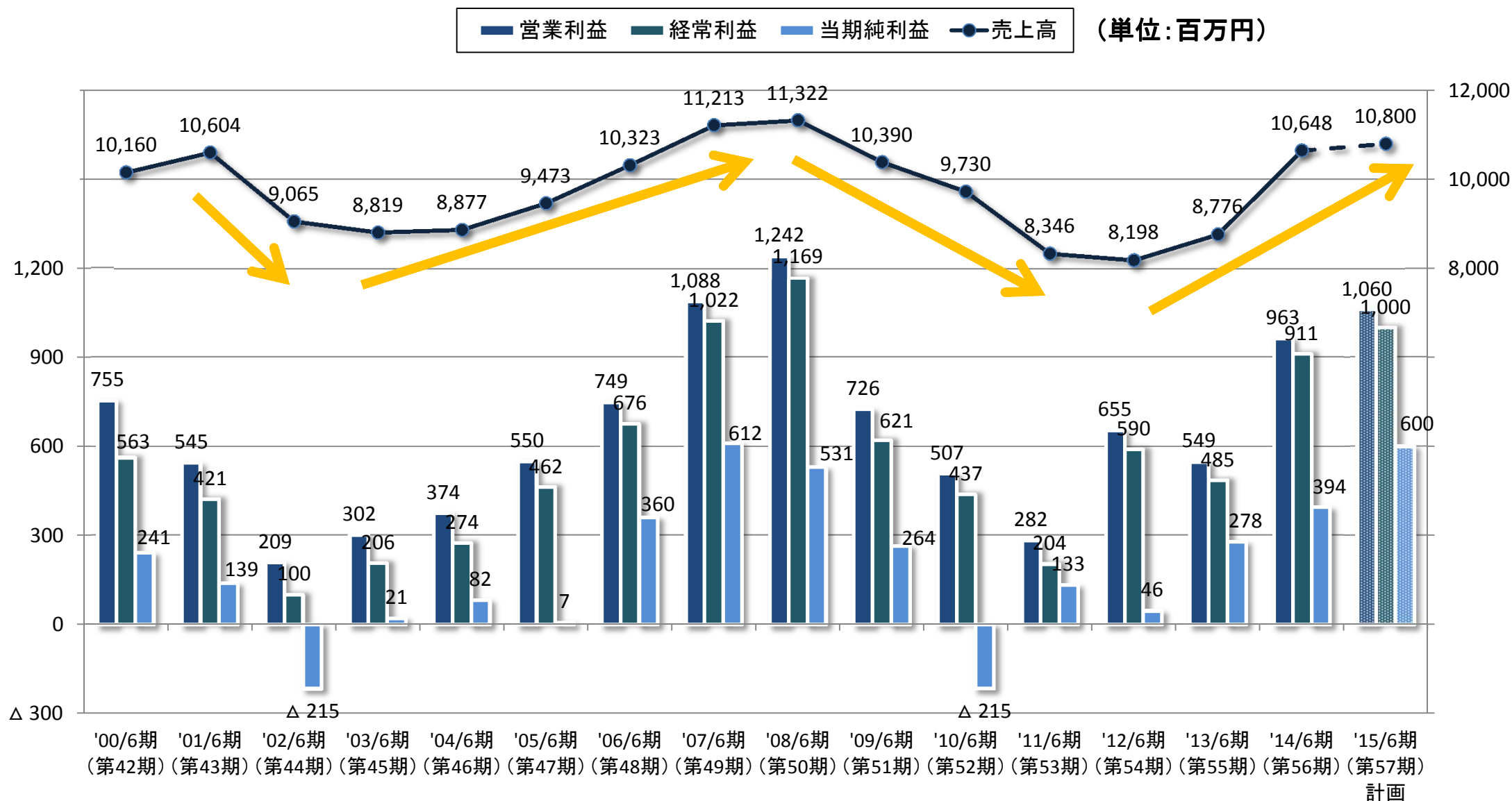
(単位:百万円)

	'14/06期2Q累計	'15/06期2Q計画	'15/06期2Q累計	対前年同期増減額 (増減率)	対計画増減額 (増減率)
売上高	3,735	3,700	4,039	304 (8.1%)	339 (9.2%)
営業利益(△損失)	△117	△200	△365	△248 (-)	△165 (-)
経常利益(△損失)	△144	△235	△393	△249 (-)	△158 (-)
四半期 純利益 (△損失)	△111	△170	△266	△155 (-)	△96 (-)

# 第2四半期累計期間の業績推移



# 上場以来の通期の業績推移と今期計画





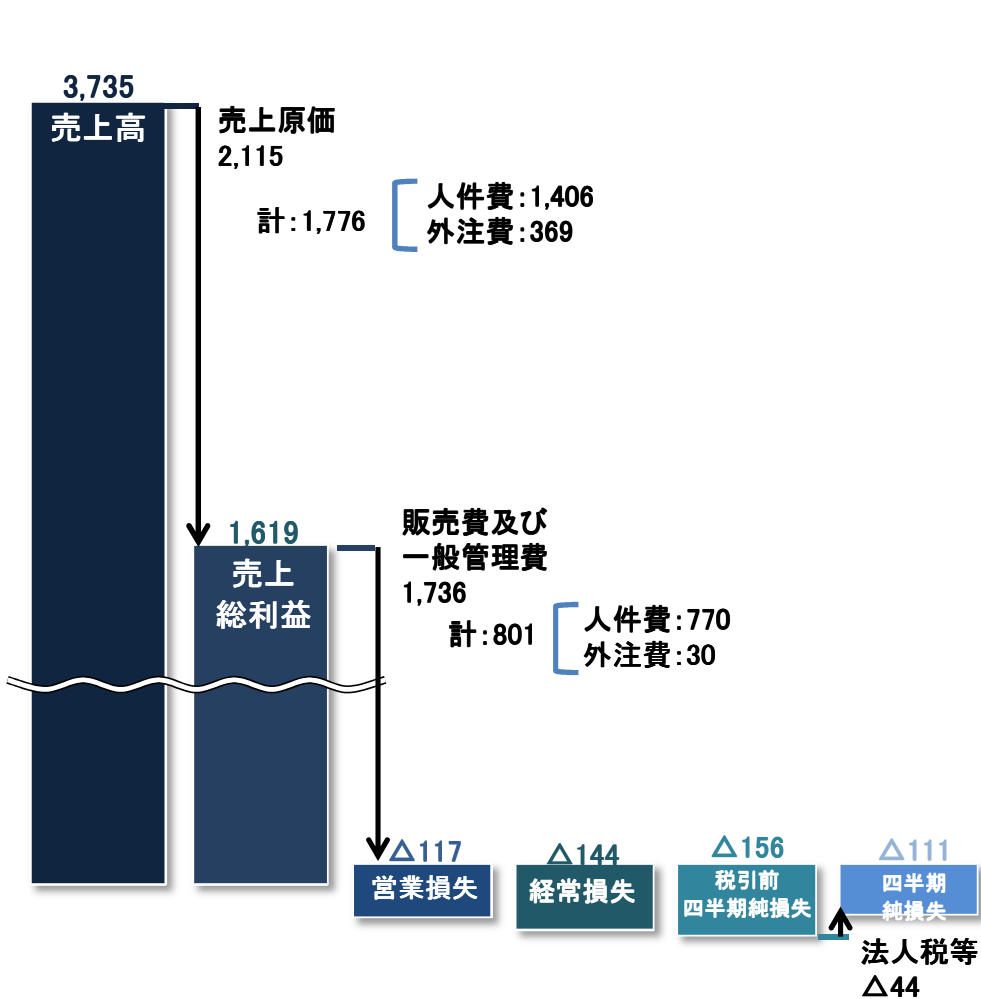
# '15/6 第2四半期 損益計算書ハイライト

(単位:百万円)

	'14/6期(第56期) 2Q累計	'15/6期(第56期) 2Q累計	対前年同期増減額
売上高	3,735	4,039	304
売上原価	2,115	2,441	326
売上総利益 (売上総利益率)	1,619 (43.4%)	1,597 (39.5%)	△22
販売費及び一般管理費	1,736	1,963	226
営業利益(△損失) (営業利益率)	△117 (△3.1%)	△365 (△9.1%)	△248
営業外損益	△27	△27	△0
経常利益(△損失) (経常利益率)	△144 (△3.9%)	△393 (△9.7%)	△249
特別損益	△11	△0	△11
税引前四半期純利益(△損失)	△156	△393	△237
法人税等	△44	△126	△82
四半期純利益(△損失) (四半期純利益率)	△111 (△3.0%)	△266 (△6.6%)	△155

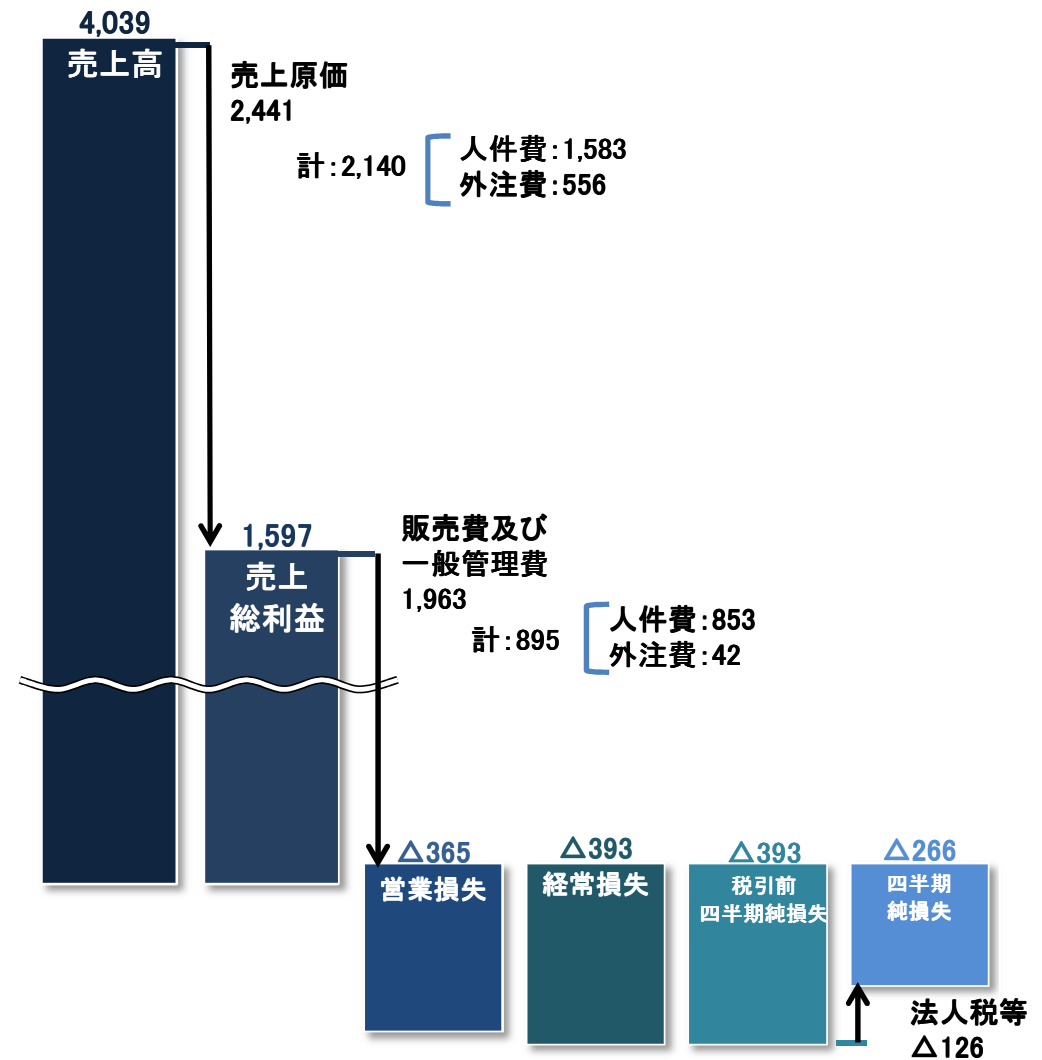
# ‘15/6 第2四半期 損益の状況

2014年6月期(第56期)2Q累計



2015年6月期(第57期)2Q累計

(単位:百万円)





# '15/6 第2四半期 貸借対照表ハイライト

(単位:百万円)

	'14/6期 (第56期) 2Q	'15/6期 (第57期) 2Q	増減額
<b>流動資産合計</b>	3,738	3,414	△324
現金・預金	618	306	△312
受取手形及び売掛金	1,441	1,316	△125
仕掛品	922	895	△26
<b>固定資産合計</b>	6,978	6,613	△365
有形固定資産	5,539	5,093	△445
無形固定資産	369	329	△39
<b>資産合計</b>	10,717	10,027	△689

	'14/6期 (第56期) 2Q	'15/6期 (第57期) 2Q	増減額
<b>負債合計</b>	7,227	7,735	508
<b>流動負債</b>	5,310	5,780	469
短期借入金 <sup>※</sup>	3,325	3,620	295
未払費用	126	178	51
<b>固定負債</b>	1,916	1,955	39
長期借入金	484	232	△252
<b>純資産合計</b>	3,490	2,291	△1,198
<b>負債・純資産合計</b>	10,717	10,027	△689

※ 「1年内返済予定の長期借入金」は短期借入金に含めて計算しております。

# '15/6 第2四半期 財政の状況

2014年6月期(第56期)2QB/S

総資産:10,717  
負債+純資産:10,717

<b>流動資産</b> 3,738 現・預金 618 売上債権 1,441 仕掛品 922	<b>流動負債</b> 5,310 短期借入金 2,990 一年以内 長期借入金 335 未払費用 126
<b>固定資産</b> 6,978 有形 固定資産 5,539 無形固定資産 369	<b>固定負債</b> 1,916 長期借入金 484
	<b>純資産</b> 3,490 利益剰余金 1,938

2015年6月期(第57期)2QB/S

総資産:10,027  
負債+純資産:10,027

<b>流動資産</b> 3,414 現・預金 306 売上債権 1,316 仕掛品 895	<b>流動負債</b> 5,780 短期借入金 3,500 一年以内 長期借入金 120 未払費用 178
<b>固定資産</b> 6,613 有形 固定資産 5,093 無形固定資産 329	<b>固定負債</b> 1,955 長期借入金 232
	<b>純資産</b> 2,291 利益剰余金 1,924

自己資本比率

有利子  
負債  
3,840

## 資産の変化(△689百万円)

### ● 流動資産の減少(△324百万円)

現金及び預金の減少(△312百万円)  
売上債権の減少(△125百万円)  
仕掛品の減少(△26百万円)

### ● 固定資産の減少(△365百万円)

有形固定資産の減少(△445百万円)  
無形固定資産の減少(△39百万円)

## 負債の変化(508百万円)

### ● 流動負債の増加(469百万円)

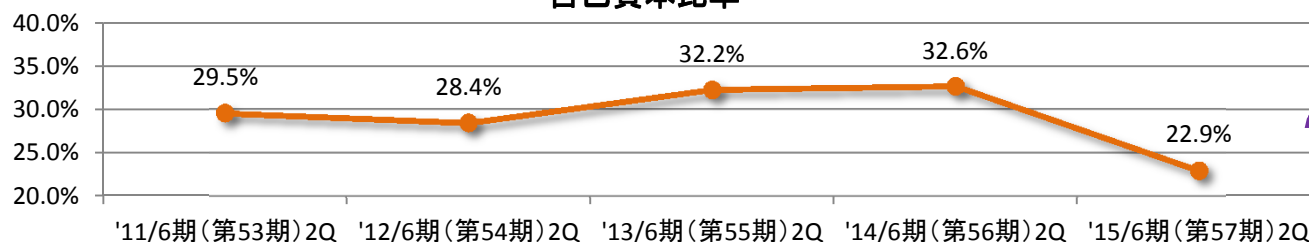
短期借入金の増加(510百万円)  
一年以内長期借入金の減少(△215百万円)  
未払費用の増加(51百万円)

### ● 固定負債の増加(39百万円)

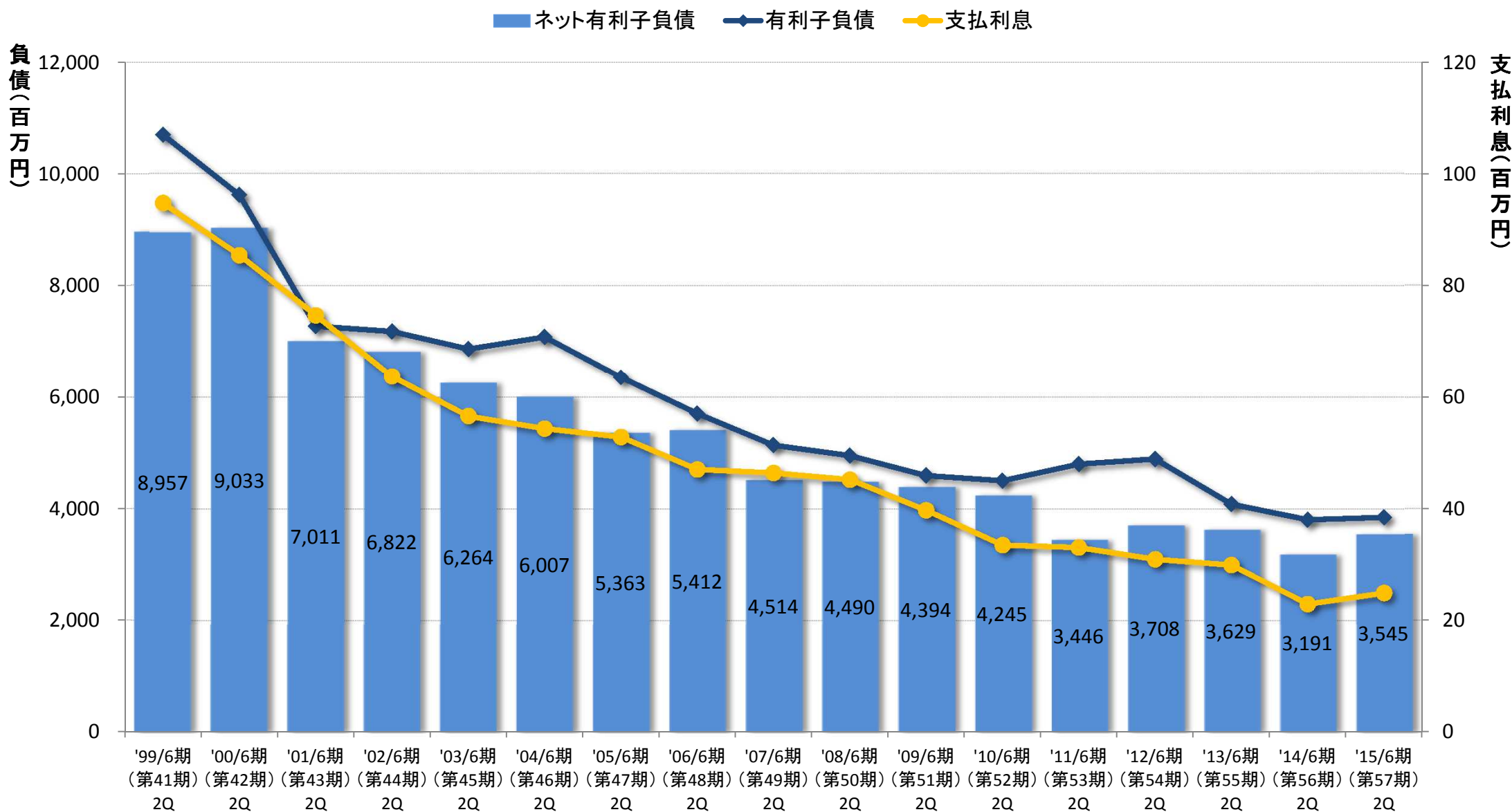
長期借入金の減少(△252百万円)  
退職給付引当金の増加(267百万円)

## 純資産の変化(△1,198百万円)

### ● 利益剰余金の減少(△13百万円)



# ネット有利子負債と支払利息の推移



# '15/6 キャッシュ・フロー計算書ハイライト

(単位:百万円)

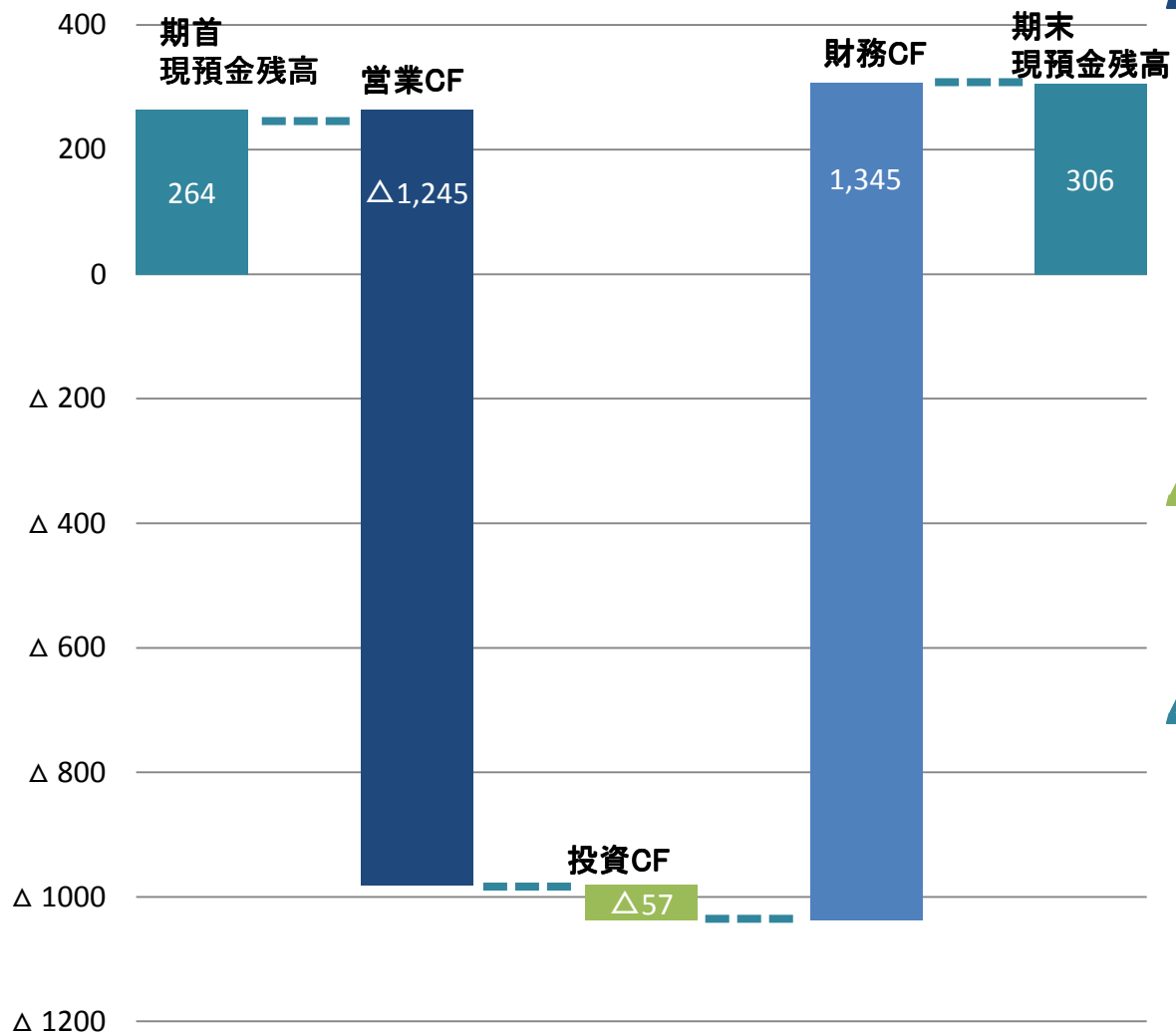
	'14/6期 (第56期) 2Q	'15/6期 (第57期) 2Q
期首現預金残高	380	264
営業活動CF	△948	△1,245
投資活動CF	△57	△57
フリー・キャッシュ・フロー	△1,005	△1,303
財務活動CF	1,243	1,345
期末現預金残高	618	306

# ‘15/6 第2四半期 キャッシュ・フローの状況

## 2015年6月期(第57期)2Q キャッシュ・フロー

(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

(単位:百万円)



### 営業キャッシュ・フロー主要内訳

● 税引前四半期純損失	Δ393百万円
● 賞与引当金の増加	172百万円
● 売上債権の減少	60百万円
● たな卸資産の増加	Δ486百万円
● 未払費用の減少	Δ489百万円
● 法人税等の支払額	Δ200百万円

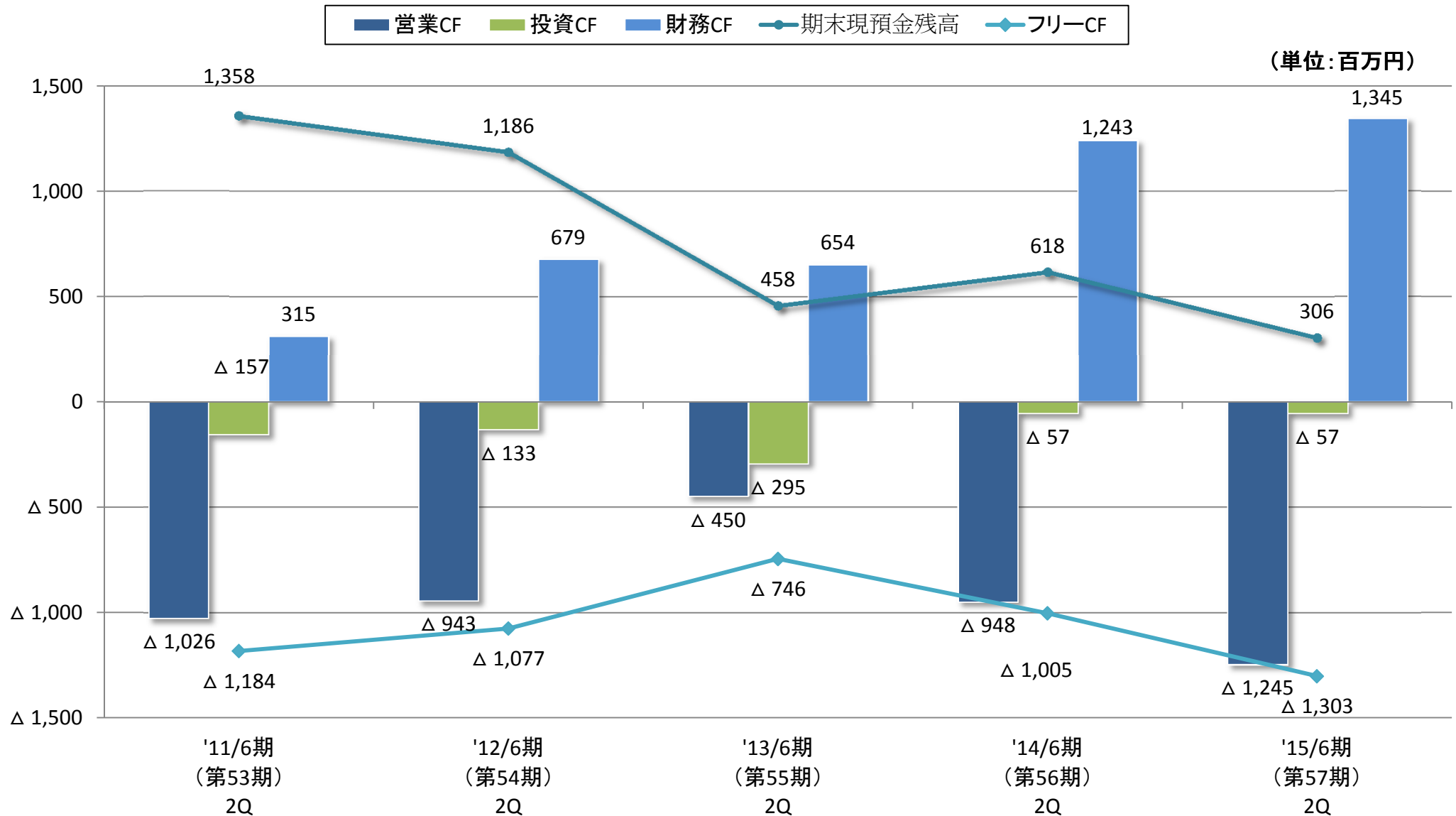
### 投資キャッシュ・フロー主要内訳

● 有形固定資産の取得	Δ23百万円
● 無形固定資産の取得	Δ25百万円

### 財務キャッシュ・フロー主要内訳

● 短期借入金の純増	1,550百万円
------------	----------

# 過去5年間の第2四半期キャッシュ・フローの状況



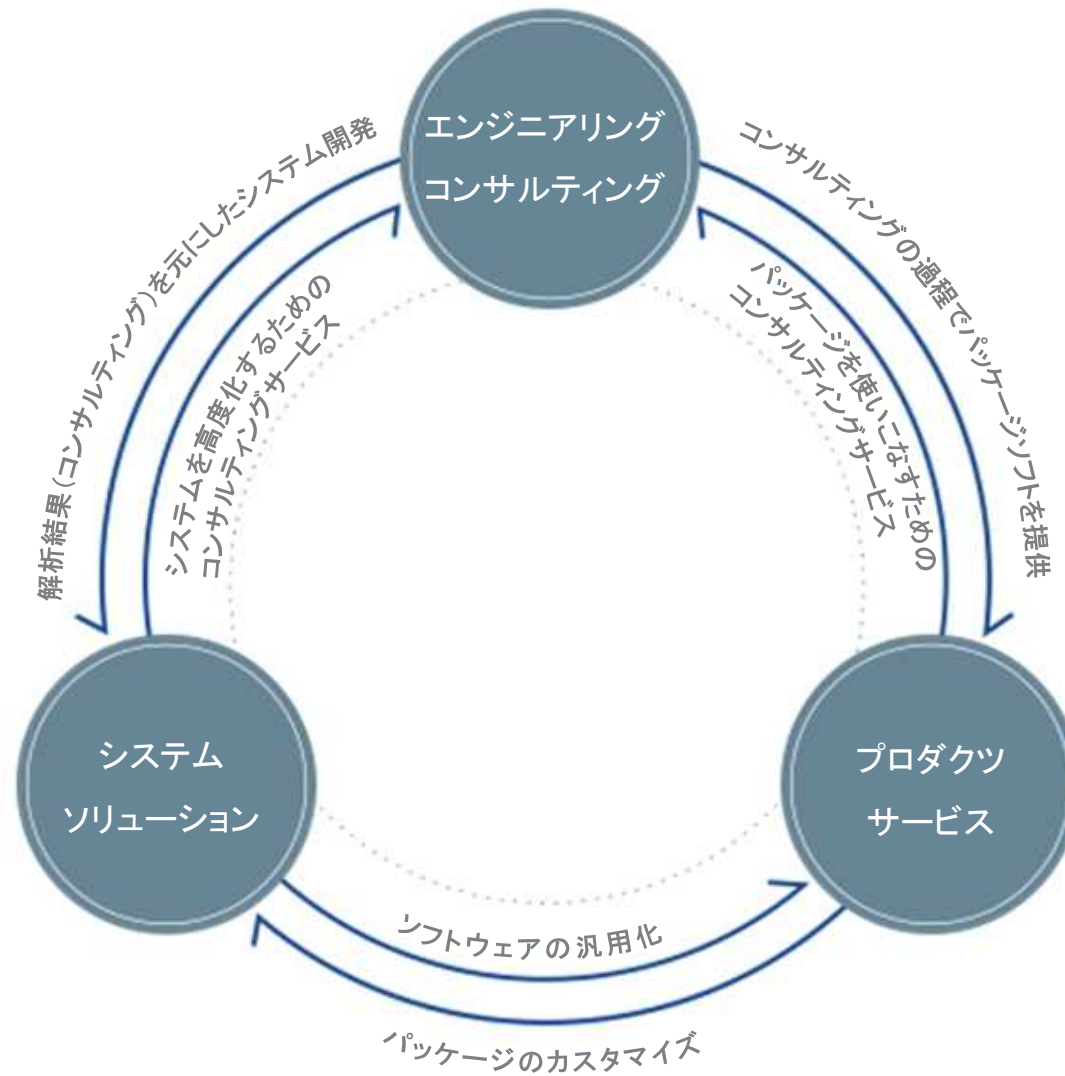
# 2

## セグメント別状況



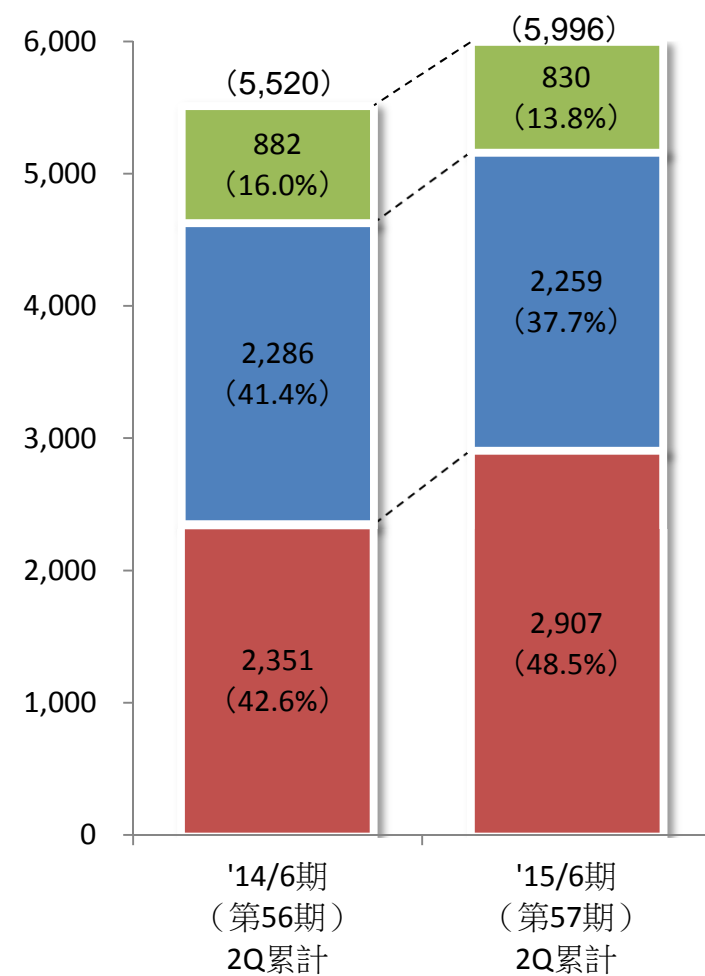


# セグメント間のシナジー

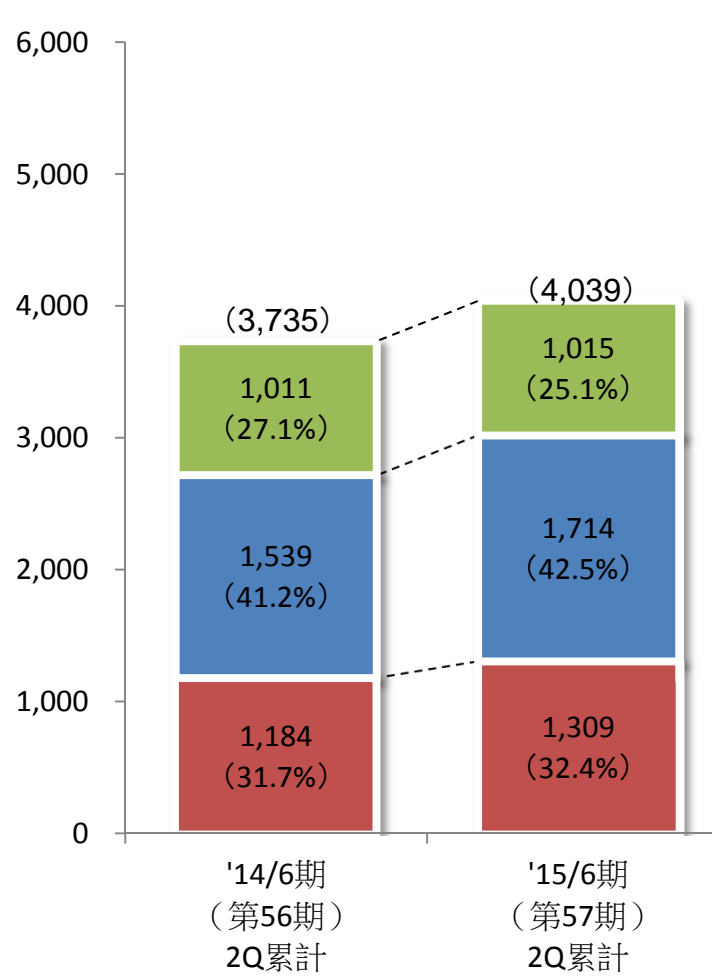


# セグメント別受注高・売上高・受注残高の状況

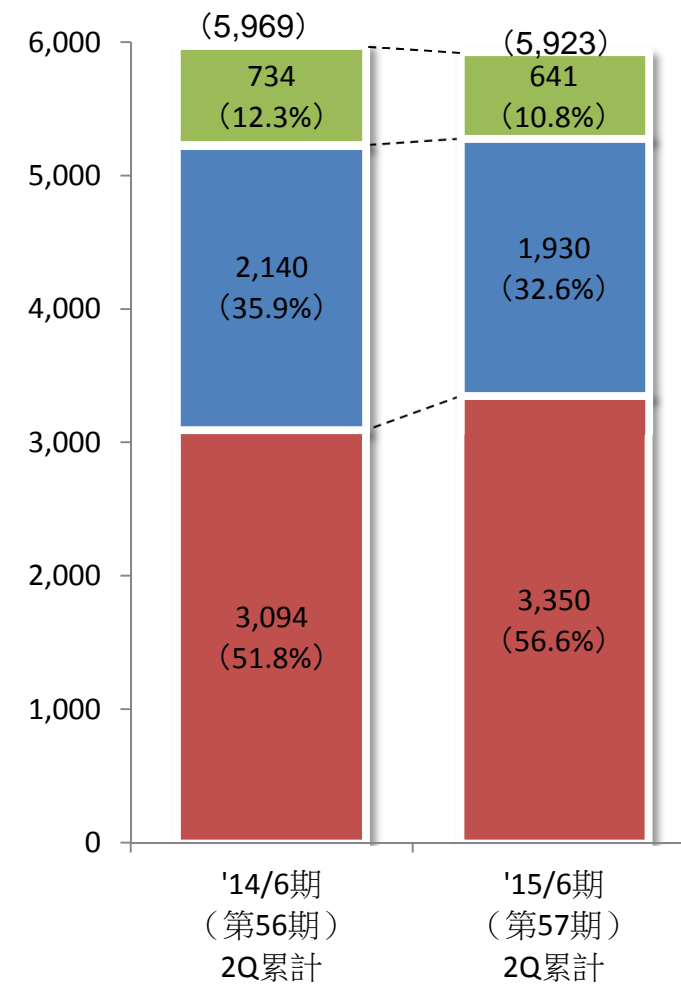
- エンジニアリングコンサルティング
- システムソリューション
- プロダクツサービス



受注高(単位:百万円)



売上高(単位:百万円)

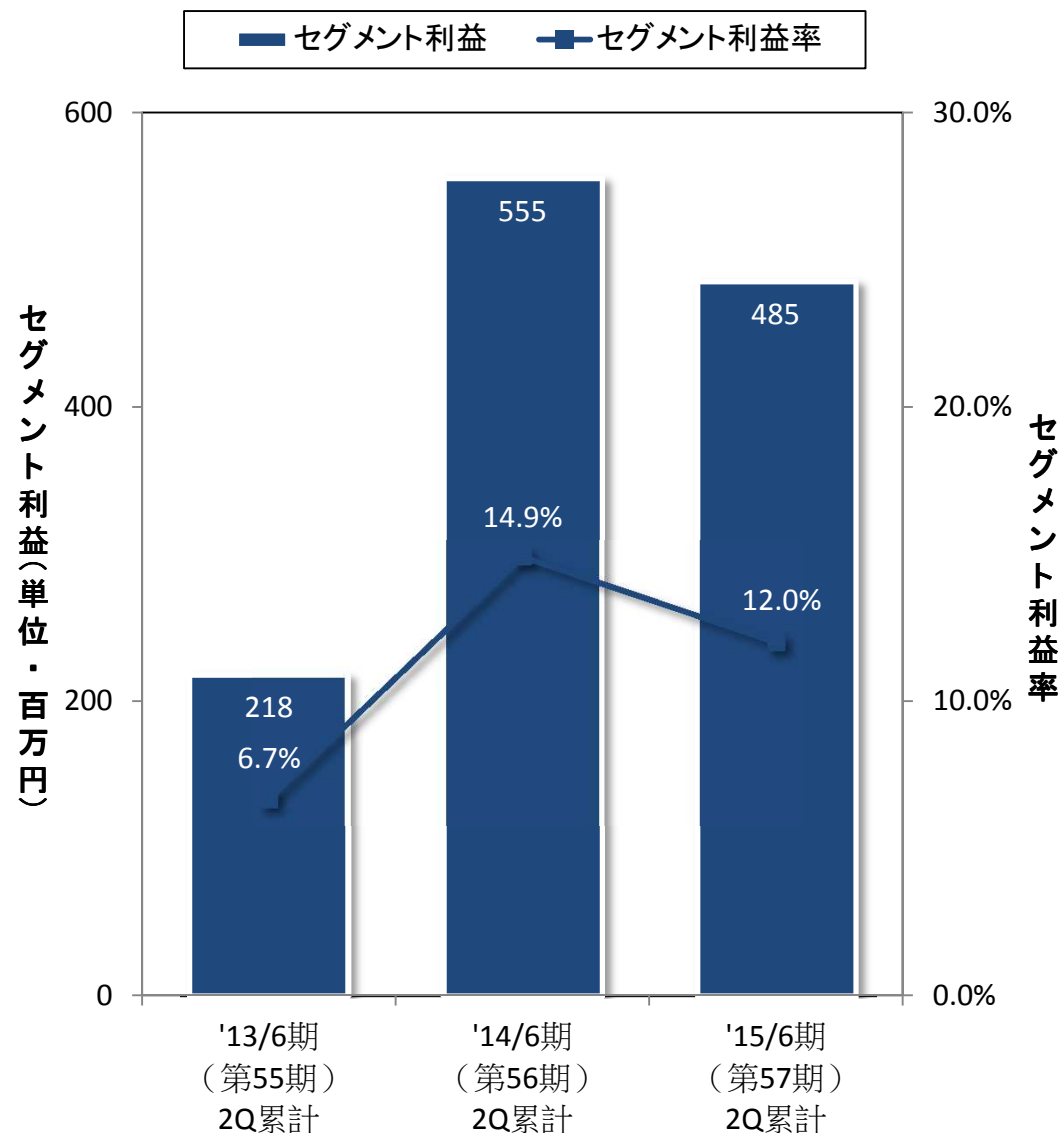


受注残高(単位:百万円)

# 3 セグメント合計

(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	'15/6期 (第57期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	4,698	5,520	5,996	8.6%
売上高	3,250	3,735	4,039	8.1%
セグメント 利益 (利益率)	218 (6.7%)	555 (14.9%)	485 (12.0%)	△12.6%
受注残高	4,941	5,969	5,923	△0.8%



# ①エンジニアリングコンサルティング

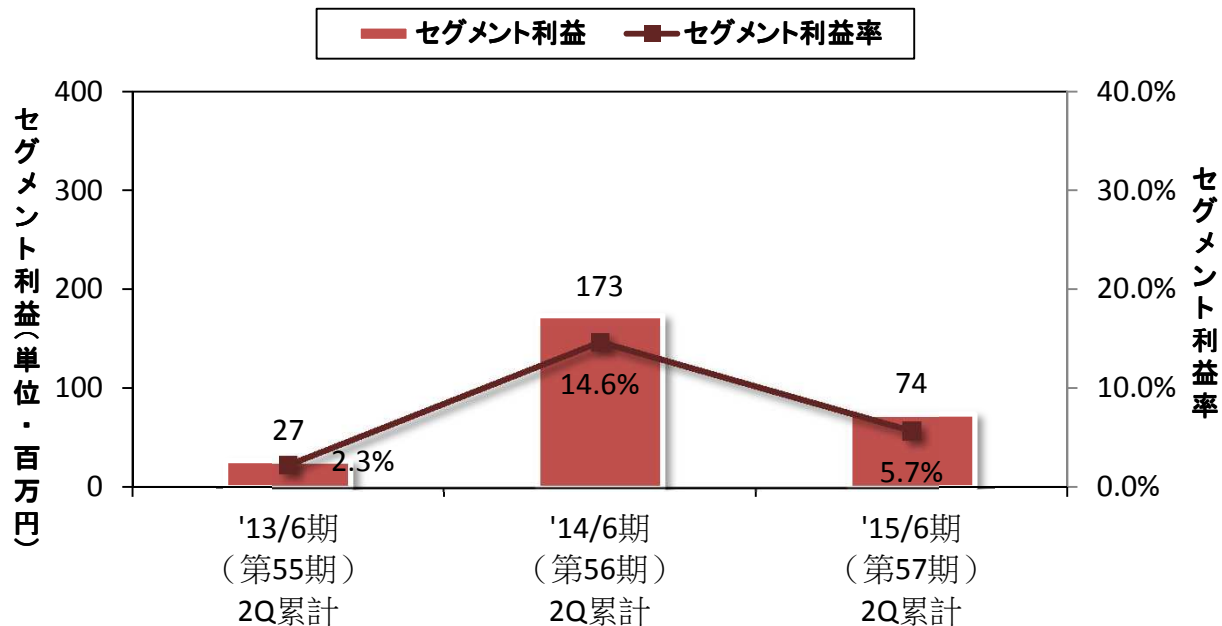
(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	'15/6期 (第57期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	2,179	2,351	2,907	23.6%
売上高	1,169	1,184	1,309	10.5%
セグメント利益 (利益率)	27 (2.3%)	173 (14.6%)	74 (5.7%)	△57.0%
受注残高	2,626	3,094	3,350	8.3%

- ◆ 防災・耐震・環境評価解析コンサル
- ◆ 建築物の構造設計
- ◆ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討
- ◆ 製造・物流系シミュレーション
- ◆ マーケティングコンサル、リスク分析
- ◆ マルチエージェントシミュレーション

## 業績分析

- 防災・耐震関連のコンサルティング業務が好調に推移
- 通信ネットワーク関連での要求仕様等上流工程の一部業務において採算が悪化



## ② システムソリューション

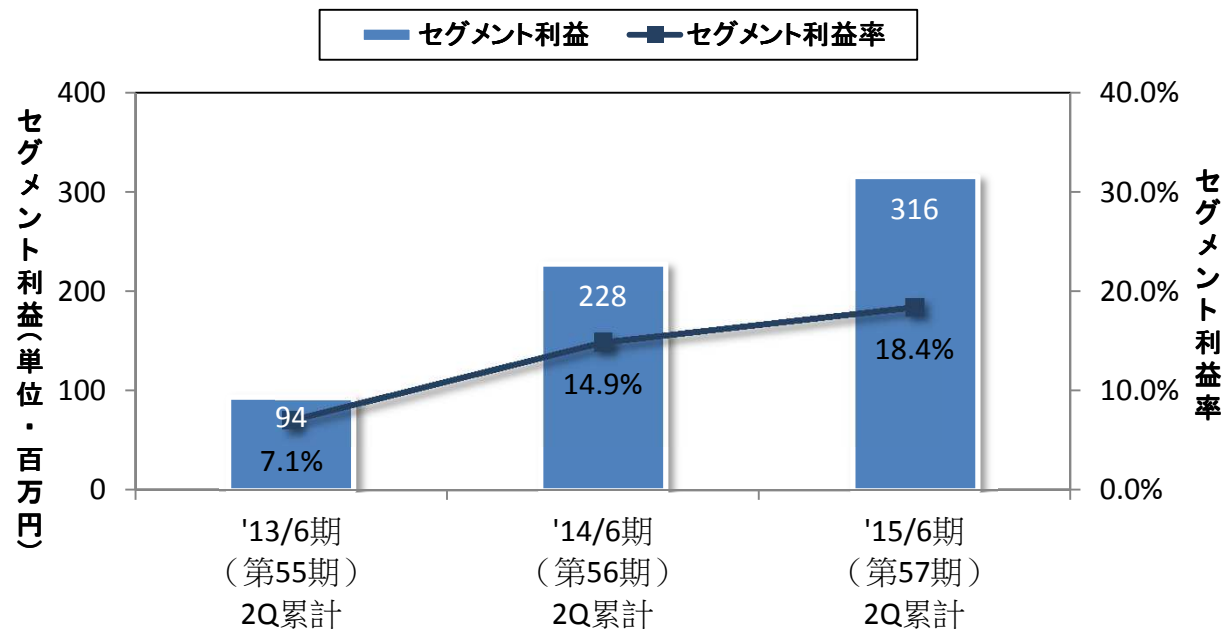
(単位:百万円)

	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	'15/6期 (第57期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	1,690	2,286	2,259	△1.2%
売上高	1,327	1,539	1,714	11.4%
セグメント利益 (利益率)	94 (7.1%)	228 (14.9%)	316 (18.4%)	38.2%
受注残高	1,727	2,140	1,930	△9.8%

- ◆ 構造設計支援システム
- ◆ 移动通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ◆ バス運行関連ソリューションシステム
- ◆ 製造業向け営業・設計支援システム
- ◆ 最適化・物流システム

### 業績分析

- 大手住宅メーカー向け構造計算システム  
および住宅設備メーカー向けのシステム  
開発業務が好調
- バス運行システムの不採算化



### ③ プロダクツサービス

(単位:百万円)

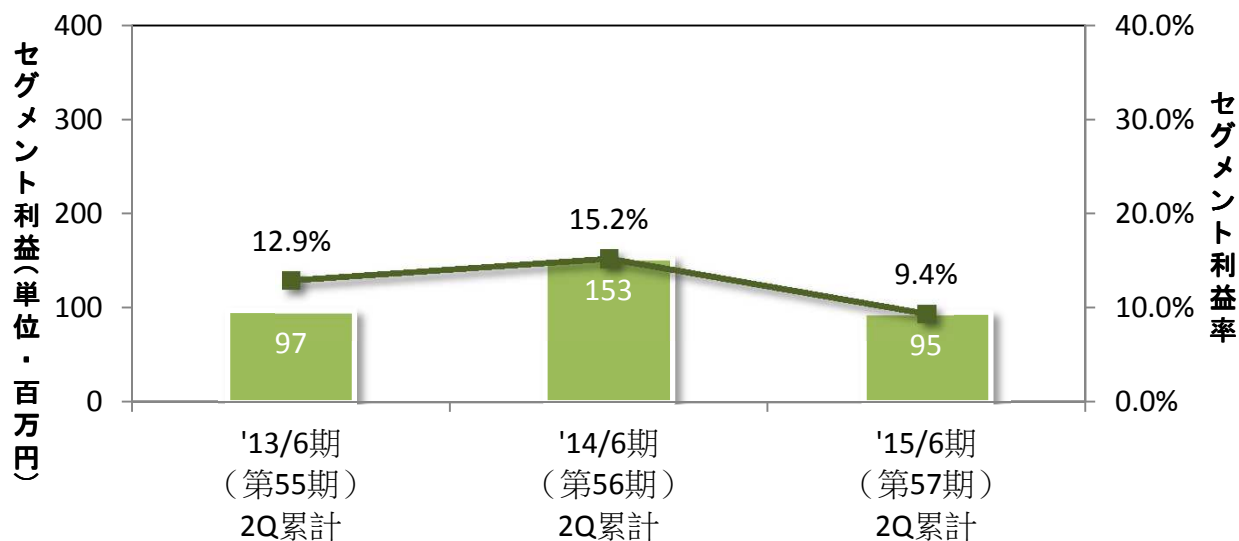
	'13/6期 (第55期) 2Q累計	'14/6期 (第56期) 2Q累計	'15/6期 (第57期) 2Q累計	対前年同期 増減率
受注高	828	882	830	△5.9%
売上高	753	1,011	1,015	0.4%
セグメント利益 (利益率)	97 (12.9%)	153 (15.2%)	95 (9.4%)	△38.0%
受注残高	587	734	641	△12.6%

- ◆ 建設系構造解析・耐震検討ソフト
- ◆ ネットワークシミュレーションソフト
- ◆ 電波伝搬・電磁波解析ソフト
- ◆ 製造系設計者向けCAEソフト
- ◆ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ◆ 統計解析ソフト、画像認識ソフト
- ◆ コンサルティング
- ◆ 教育トレーニング

#### 業績分析

- 設計者向けCAEソフト、統合型粒子法流体解析ソフト、リスク分析・意思決定支援ソフトの販売が堅調
- 通信ネットワーク関連ソフトが販売減少

■ セグメント利益 ■ セグメント利益率



# 3

2015年6月期見通し





# 2015年6月期見通し

## 経済環境

円安・株高が進行したものの、消費や輸出が伸び悩み、景気の回復が鈍化

## 当社の対面業界

生産や設備投資に慎重な様子が見え始めるものの、競争力強化および安全・安心のための投資には根強い需要

- ① 品質管理のより一層の向上による強固な収益構造の構築
- ② 独自技術の提供により高収益を確保できるエンジニアリングコンサルティングビジネスの拡大
- ③ 大学・研究機関との共同研究及び独自技術をもつ国内外企業とのアライアンス拡大
- ④ 重要な顧客の情報を集約することによる、営業のスピードと効率の向上
- ⑤ 海外での事業拡大および人材の採用

高い顧客満足度と付加価値の向上を追求

# 当社をめぐるステークホルダーへの対応



# 計画達成に向けて

(単位:百万円)

	' 14/6期	' 15/6期計画	対前期 増減額	対前期 増減率
売上高	10,648	10,800	151	1.4%
営業利益	963	1,060	96	10.0%
経常利益	911	1,000	88	9.7%
当期純利益	394	600	205	52.0%
配当金	@普通30 +記念5円/株	@40円/株		

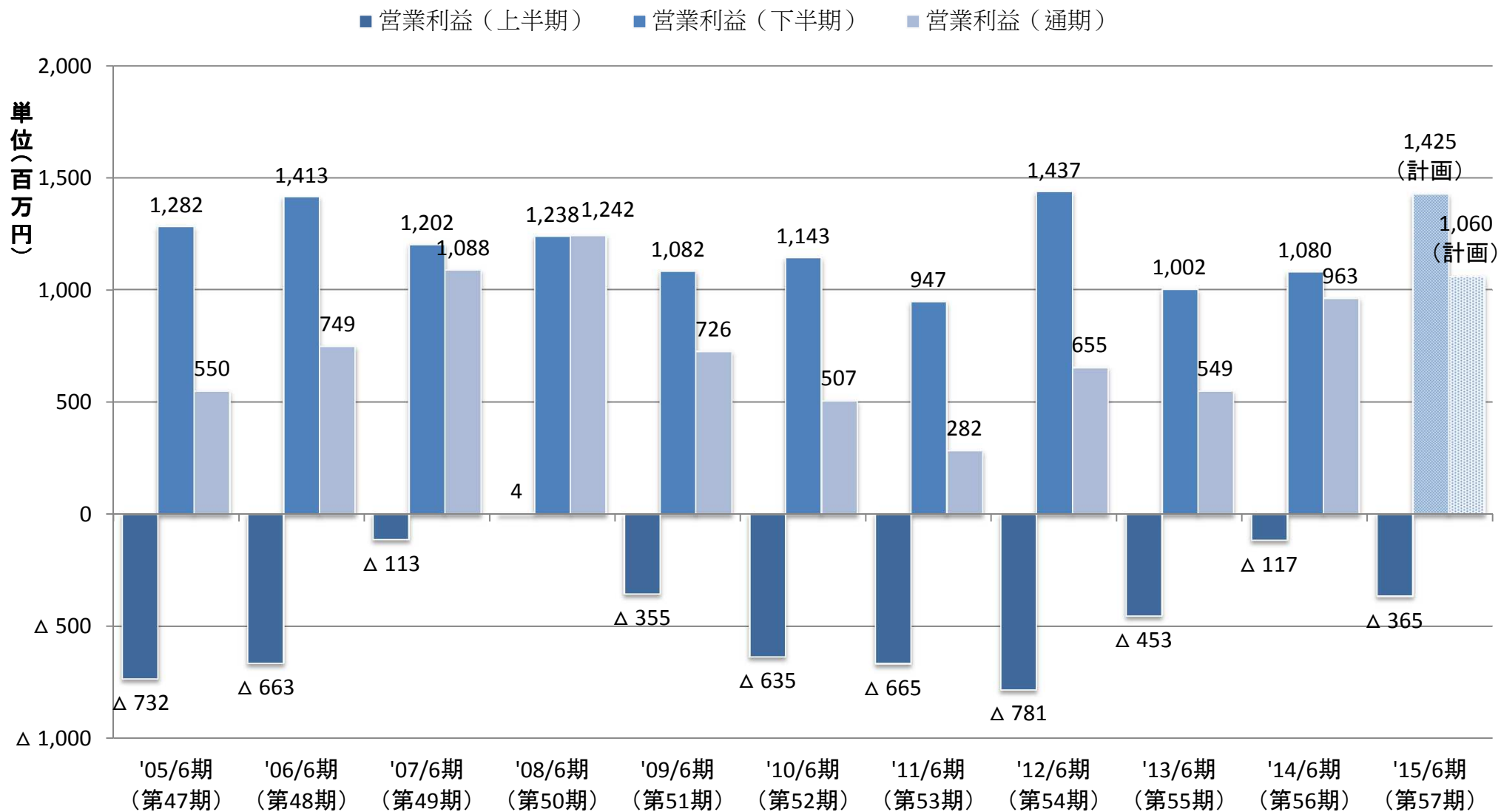
## 3つの行動指針

(Professional Design & Engineering Firmを実現するために)

限られたリソースの中で優先順位を付けたマネジメント

- 1** 閉じこもらない「*Collaboration*」  
社内、社外のパートナーとの提携！
- 2** PDCAを糧にする「*Feedback*」  
失敗経験も組織の力に活かす！
- 3** 情報技術の進化に負けない「*Speed*」  
組織メンバーがスピードのある行動を！

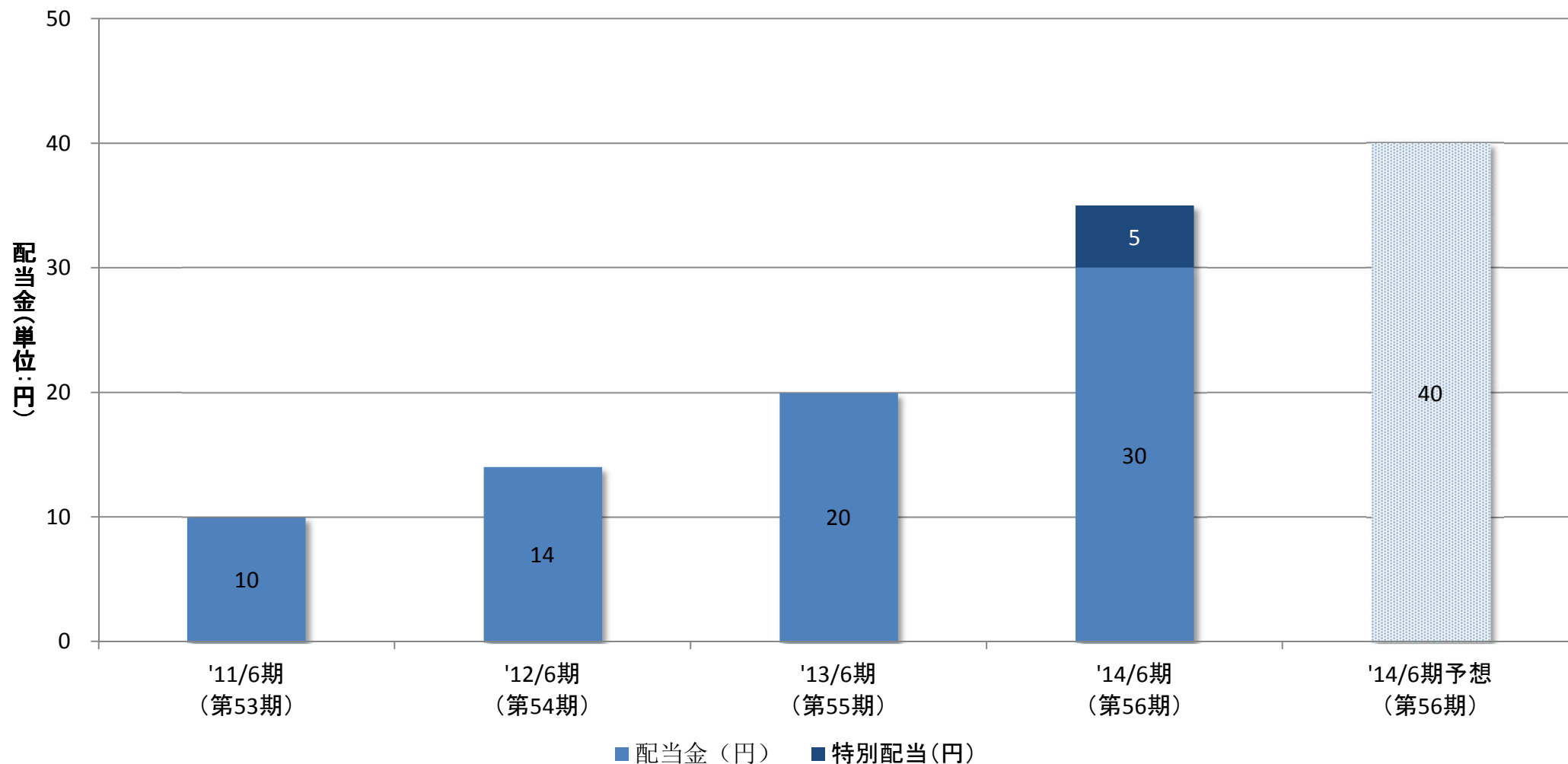
# 上半期と下半期の営業利益推移



## 利益配分に関する基本方針

- 当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識
- 経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針とする。
- 毎期の配当については、上記基本方針のもと、配当可能額の水準を勘案し決定する。

# 一株当たり配当金予想 (2015年6月期)



※当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題として認識しており、経営基盤の強化及び将来の事業展開に備えての内部留保を勘案しつつ、継続的かつ安定的に配当を行うことを基本方針としております。



## 下半期重点目標

---

- 技術優位を活かし高収益を確保できる分野での早期受注早期売上
- 品質管理のより一層の向上による利益性確保
- 外注費等の経費を適切に管理

# 4

中長期的視野に立った経営方針



## 当社が目指すありたい姿（ミッション）

# Professional Design & Engineering Firm

学問知と経験知による知の循環から  
生み出される、工学的手法に立脚した  
ユニークな解決策（ソリューション）を  
提供することによって高付加価値を  
実現する組織

# 当社をめぐるステークホルダーへの対応



## 3つの行動指針

(Professional Design & Engineering Firmを実現するために)

限られたリソースの中で優先順位を付けたマネジメント

**1** 閉じこもらない「*Collaboration*」

社内、社外のパートナーとの提携！

**2** PDCAを糧にする「*Feedback*」

失敗経験も組織の力に活かす！

**3** 情報技術の進化に負けない「*Speed*」

組織メンバーがスピードのある行動を！

# 付加価値を向上させるための5つの「I」 (姿勢)

## I ntelligent

知を対価とするビジネスと社会貢献

## I ndependent

何にもとらわれない自由な発想のできる場の設定

## I nterdisciplinary

多様な学問分野の組み合わせ、融合

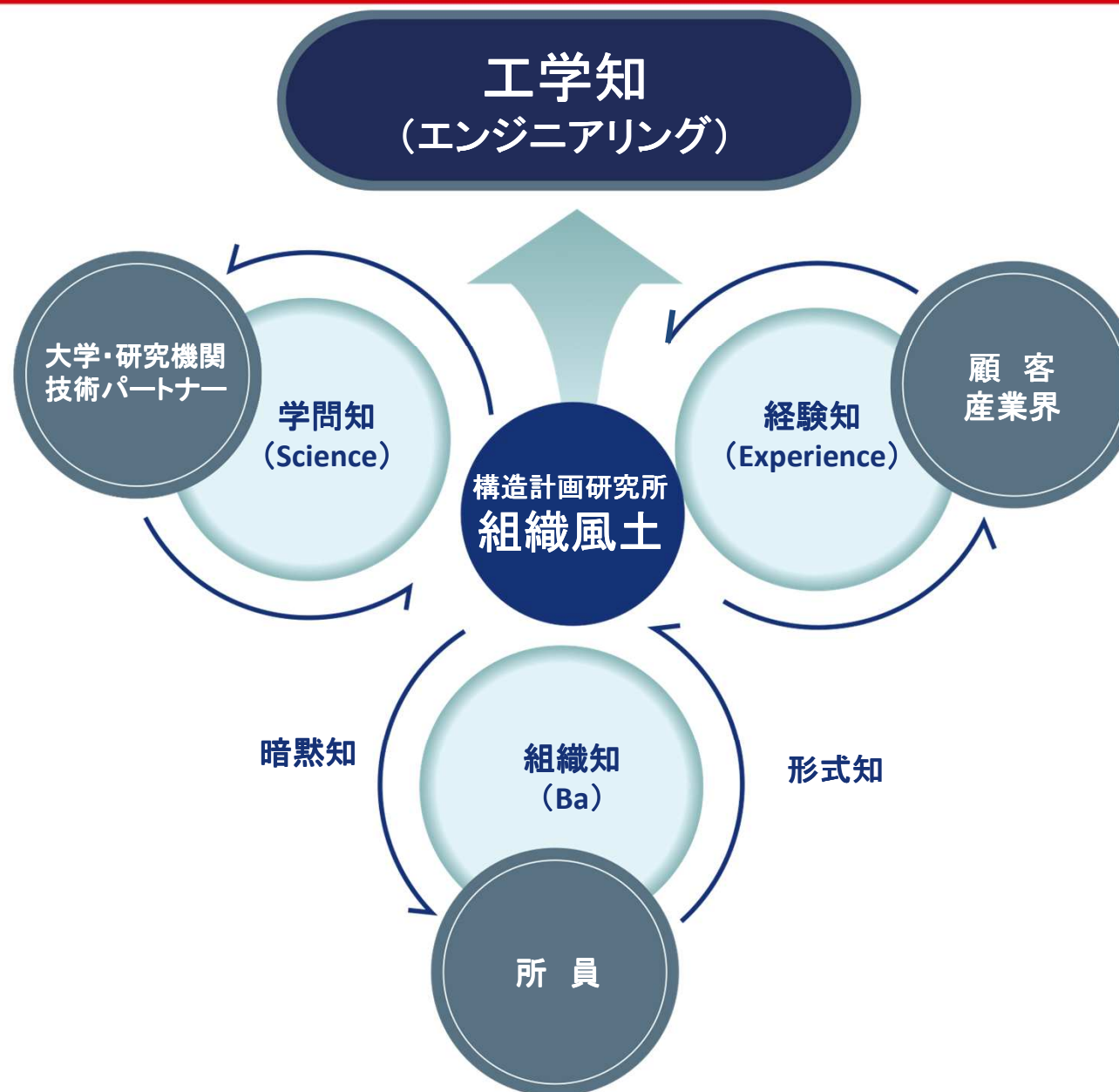
## I nnovative

常に新しい事に対して挑戦する気概 風土 DNA

## I nternational

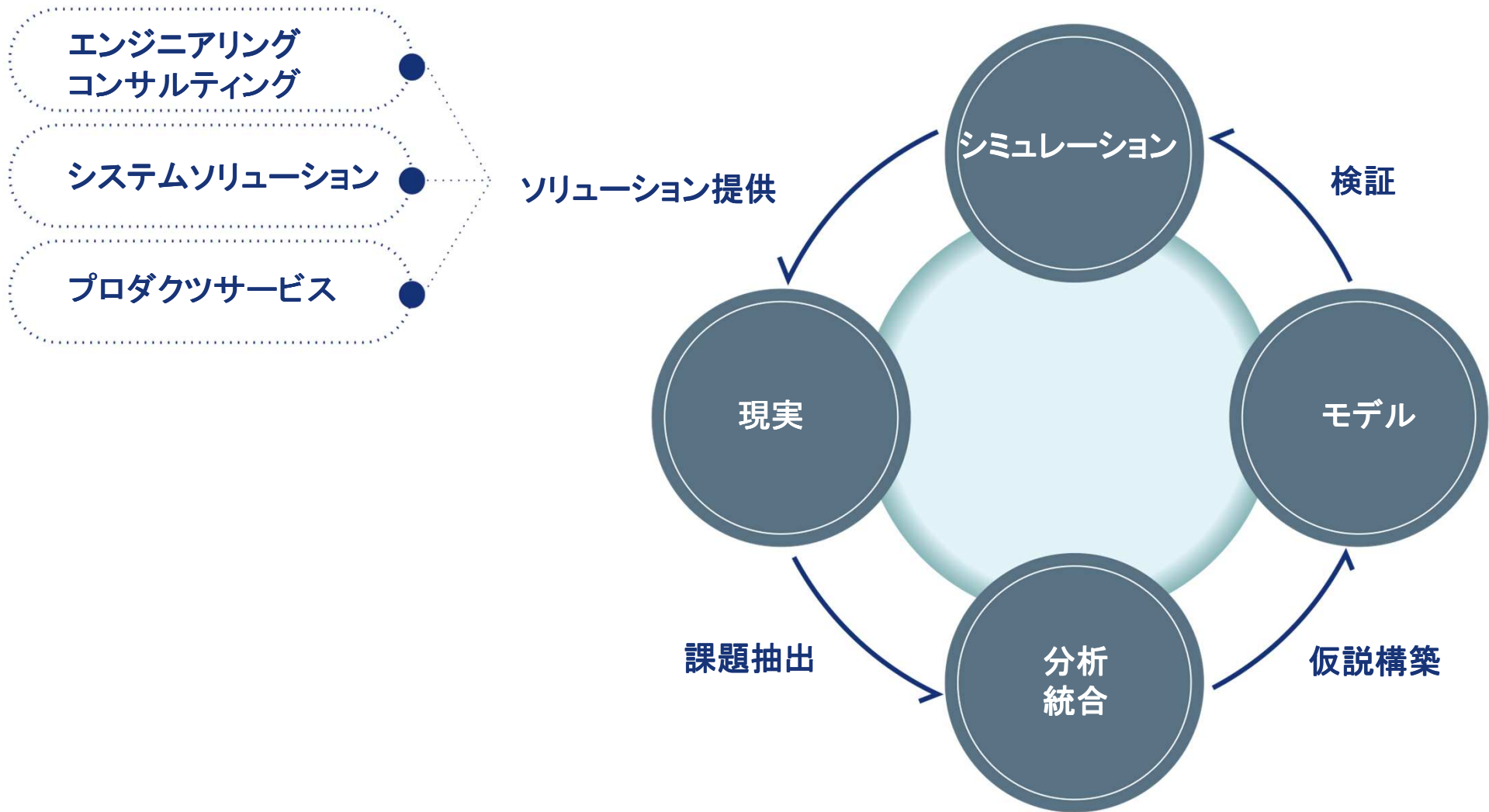
異なる知を持つ海外パートナーとの連携

# 当社のビジョン 知の構造図

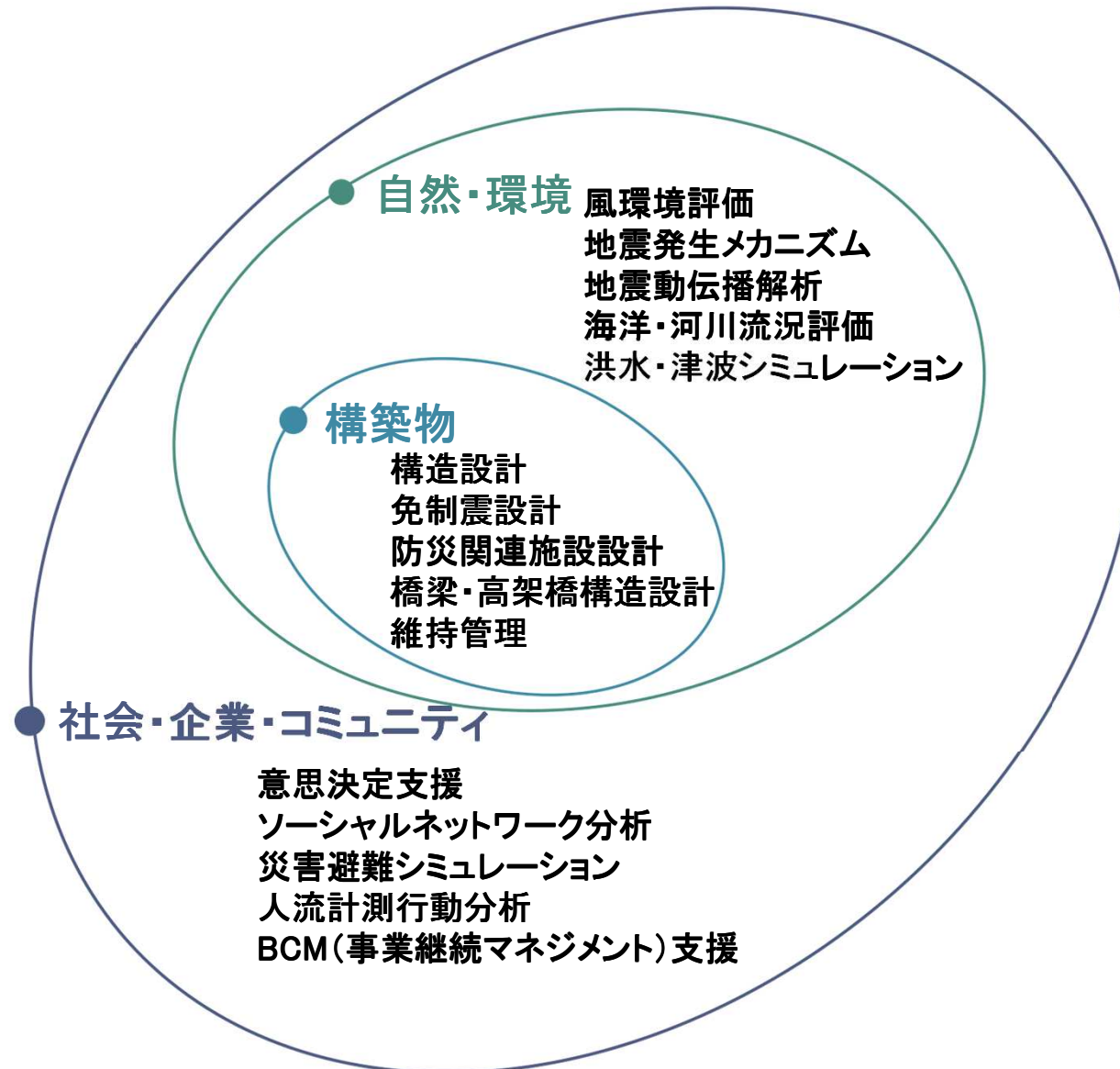




# 工学的アプローチの一例（モデルとシミュレーション）



# 事業領域の拡大



# 付加価値成長のシナリオ

## 1. 「事業開発投資」による付加価値成長



## 2. 「所員の成長」による付加価値成長



## 3. 「所員(仲間)の増加」による付加価値成長



※当社では営業利益に人件費を加えた額を付加価値と定義し、各ステークホルダーへの分配可能原資を表しています。

# 服部賞と社内表彰プロジェクト

## 服部賞

産学官連携や社会貢献活動で活躍した所員へ贈られる

### ■ 第32回受賞者

創造工学部

森 俊勝



### ■ 受賞対象名

社会シミュレーション・ビジネスの拡大

### ■ 受賞理由

社会シミュレーション分野において、ツール開発などの技術向上を図り、新規ビジネス開拓として社会的課題に着目した実務的なコンサルティング業務展開に大きく貢献していると認められました。

## プロジェクト表彰

優秀な社内プロジェクトを表彰する



会社に貢献し  
他の模範となる業務  
34件206名の表彰対象

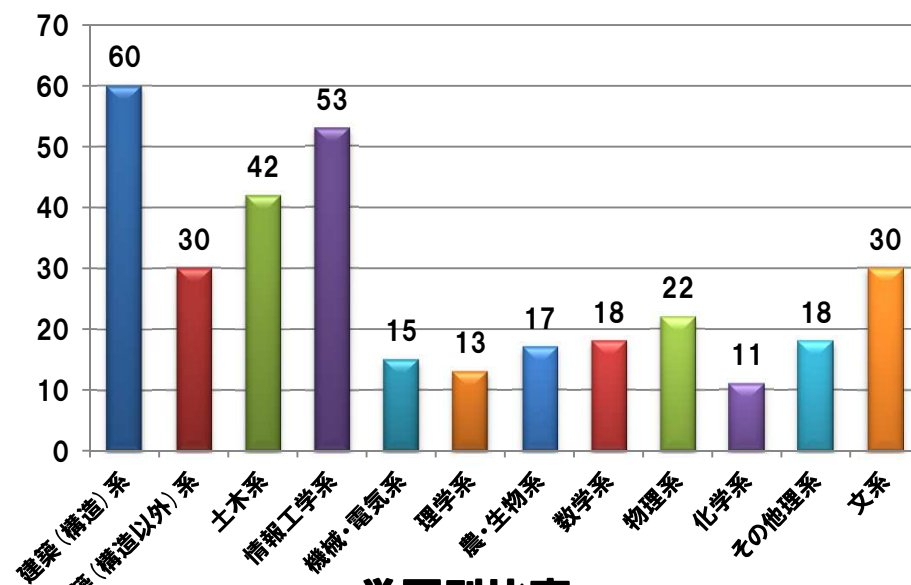
前会長富野の  
勇退セレモニー



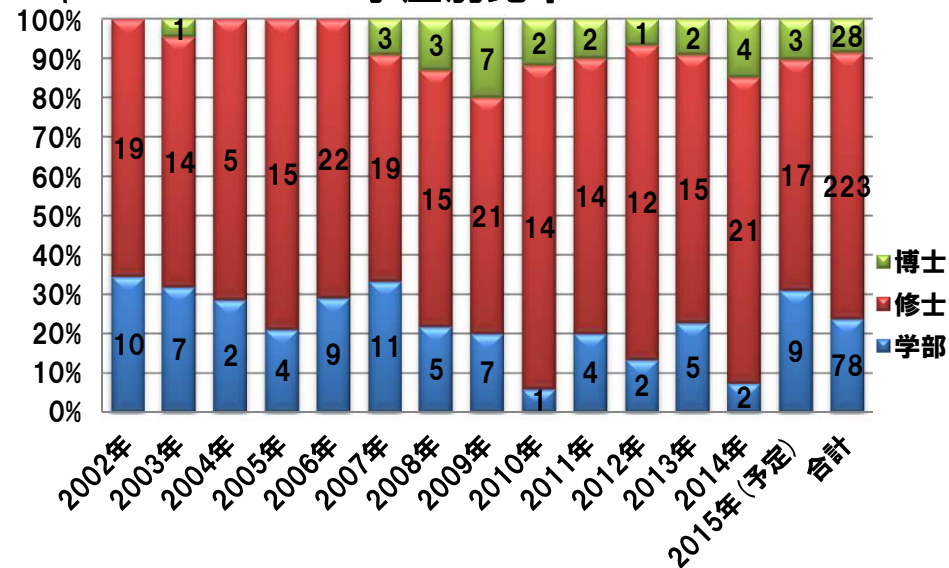
# 若手の成長 リクルート活動（日本国内実績）

出身校上位20校（'02/4月～'14/4月入社）	人数
東京工業大学	29
京都大学	21
東京大学	21
九州大学	20
早稲田大学	17
東京理科大学	13
熊本大学	10
筑波大学	10
慶應義塾大学	8
大阪大学	8
日本大学	7
名古屋大学	6
埼玉大学	5
中央大学	5
法政大学	5
東北大学	5
神戸大学	4
電気通信大学	4
北陸先端科学技術大学院大学	4
豊橋技術科学大学	4

## 出身専攻系統



## 学歴別比率



# 付加価値をより一層向上させるために

- 研究機関のマーケティング
  - ✓ 技術への惜しみない投資
  - ✓ 有望な技術シーズをビジネスに結びつける
  
- アジアを足掛かりとしたグローバル展開
  - ✓ 多様な人材を多様な環境で幅広く起用
  - ✓ グローバル採用
  
- 優位性のある当社内既存技術の異業種展開
  
- 新しいビジネスモデルの模索



# 大学発ベンチャー表彰受賞2014 文部科学大臣賞受賞

## 大学発ベンチャー表彰

- 大学などの研究開発成果を活用して起業したベンチャー企業のうち、今後の活躍が期待される優れたベンチャー企業を表彰することを目的に2014年度より新たに始まった表彰制度
- ベンチャー企業の成長に寄与した大学や企業なども表彰の対象

当社のパートナー企業であるプロメテック・ソフトウェア株式会社が文部科学大臣賞受賞  
支援大学として東京大学、支援企業として当社も共同で受賞

企業名:プロメテック・ソフトウェア株式会社

- 「粒子法」に基づくソリューションの提供

代表者:藤澤智光氏(プロメテック・ソフトウェア株式会社)

支援大学:越塚誠一氏

(東京大学大学院工学系研究科教授)

- 流体シミュレーション「粒子法」考案

支援企業:服部正太(株式会社構造計画研究所)

- 「Particleworks」の販売、コンサルティング業務



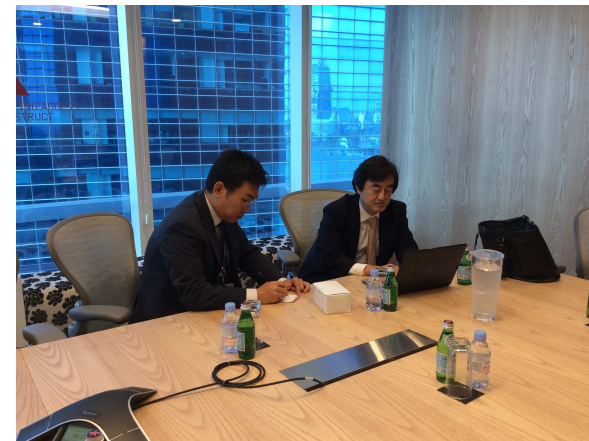
## 今後の展望

- 世界初の粒子法を採用した初の商用流体解析ソフトウェア「Particleworks」の様々な分野への応用
  - ✓ 津波や土砂災害など社会基盤に関わる重要な問題への取り組み
  - ✓ 化学・医薬・食品分野における粒子法を用いた生産プロセスの効率化実現
- ソフトウェアの販売のみならず、コンサルティングを含めたビジネスの提供
- 日本生まれのCAE(コンピュータ解析による設計支援)技術のアジアを中心とした海外展開

# シンガポール現地法人設立

## KKE Singapore Pte.Ltd

- 登記 2015年1月9日 事務所開設 2015年4月予定
- 場所: Marina Bay Financial Center内
- 事業内容: ASEAN地域のマーケティング & リサーチ業務
- 資本金: S \$ 120,000
- 役員: 服部正太、湯口達夫、現地取締役1名



## 今後の展望

- 今後高い経済成長の見込めるASEAN地域において、当社の技術および日本の技術を発信型でビジネス展開
- 中長期的にKKE全体の成長を支える地域、拠点として発展させていく
- グローバルな人材採用の拠点としての利用



# シンガポールでの採用活動

## ASEAN Career Fair 2015

- ASEAN各国のトップ大学の学生が600人以上集まる合同企業説明会、選考会
- 日本企業15社が参加

### ■ 参加目的

- 当社は参加2年目
- 2016年入社向け新卒採用より 外部環境が大きく変化するため、別の新卒採用チャネルを確保
- 今後のグローバル展開を睨み、外国籍所員の人員増強を測る  
(現在18名、全所員中3.2%→2015年4月23名、3.9%予定)

### ■ 昨年度結果

- 5名入社  
国籍：イラン、シンガポール、インドネシア、マレーシア、中国  
大学：シンガポール国立大学、南洋理工大学、マレーシア工科大学、バンドン工科大学



# MASカンファレンス2015～第15回MASコンペティション～

1996年から米国サンタフェ研究所のビジネスネットワークに参画し、複雑系分野の研究を継続  
自社開発のマルチ・エージェントシミュレータの販売およびコンサルティング業務を推進する傍ら  
自社の研究者育成のみならず社外においても技術の普及に努める

## マルチエージェント・シミュレーション

人間行動や経済現象・社会現象を、エージェント(例えば、人間)の相互作用を考慮した  
シミュレーション手法

防災・避難、マーケティング、交通・人流、市場取引、都市計画などの分野で広く活用

### □ 開催目的

- ✓ 複雑系シミュレーションを実現するマルチ・エージェントシミュレータ「KK-MAS」および「artisoc」の技術普及
- ✓ コンペティションを通じたマルチエージェント・シミュレーション(MAS)の技術および情報交換の場
- ✓ 新規テーマの発掘

□ 開催日:2015年3月5日(木)講演、6日(金)コンペティション

□ 開催場所:コングレスクエア中野

### □ 講演内容

- 大阪大学大学院 紀ノ岡 正博氏  
「再生医療における予測技術の重要性」
- 防衛大学校 生天目 章氏  
「マルチエージェントシステムの産業への応用」

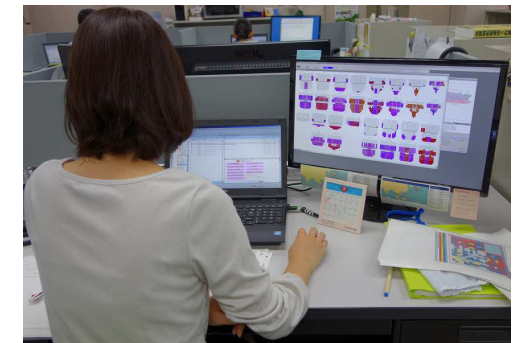


# 熊本 コンテナ船積み付けプランニングセンター新設

コンテナ運用最適化「EAGLE」プロジェクトなどでかねてより業務提携のあった  
当社と日本郵船株式会社様が共同で  
コンテナ船積み付けプランニングセンターを熊本構造計画研究所内に新設(2014年9月)

## GLO PLANNING CENTER

- 船に積み付けるコンテナのプランニング業務
  - ✓ 知識集約型業務の国内回帰 日本の効率性、安全性を追求する品質への取り組み
- 日本郵船社様が全世界で取り扱うコンテナ(年間コンテナ輸送量350万t)の90%に関与



## 今後の展望

- 製造業・物流業における新しい国際分業拠点のありかたを提案
- オペレーションズ・リサーチ技術の活用分野拡大 海運業のみならず製造業、物流業の分野まで
- IT技術の発達を活かした地方のビジネス振興に寄与
- 地方の優秀な人材が活躍できる場の継続的提供

皆様とともにこれからも目指していきたい社会

## Innovating for a Wise Future

革新

叡智

未来

▶ イノベーション(革新)を繰り返し行っていくことで、  
より良い社会を実現する

▶ 持続可能な幸せにつながる、人の「叡智」を基礎とする  
社会デザイン

▶ 互いを刺激しあうような、共創による未来社会構築



# KKE Vision 2014開催のご報告

## KKE Vision 2014開催概要

「ともに気づく未来、ともに築く社会。」

### □ 開催目的

- ✓ 当社と大学・研究機関、ビジネスパートナーとが工学知を共有する場
- ✓ 当社最大のマーケティングイベント
- ✓ 講演・質疑応答による「対話」を通して「共に」未来社会を考える場

□ 開催日: 2014年10月30日(木)

□ 開催場所: 虎ノ門ヒルズフォーラム

□ 申込者数: 約1,000名

### □ 講演内容



- 基調講演 「産業振興」発想から「社会システム・デザイン」発想へ  
東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラム特任教授  
社会システムアーキテクト  
横山 禎徳氏

### ● 分科セッション

- ◆ イノベーションを生む米国スタートアップコミュニティの実際
- ◆ ITSによる交通の革新と未来創造
- ◆ 再生医療におけるコトづくり

など全6セッション

➡ 顧客・パートナーとの長期的な信頼関係の構築

「データ分析」「器物の耐震解析」など具体的な案件も進行中

本日はお忙しい中お越しいただき  
誠にありがとうございました

今後とも何卒よろしくお願い致します

**【お問い合わせ先】**

株式会社構造計画研究所

広報・IR室(担当:小山、松本)

T E L : 03-5342-1040

F A X : 03-5342-1042

E-MAIL : [ir@kke.co.jp](mailto:ir@kke.co.jp)

H. P. : <http://www.kke.co.jp>